

TMG あさか医療センター広報誌

ご自由にお持ち下さい

Take Free

病院と患者さま・家族をつなぐ

かけはし

2026. 10

Vol.18

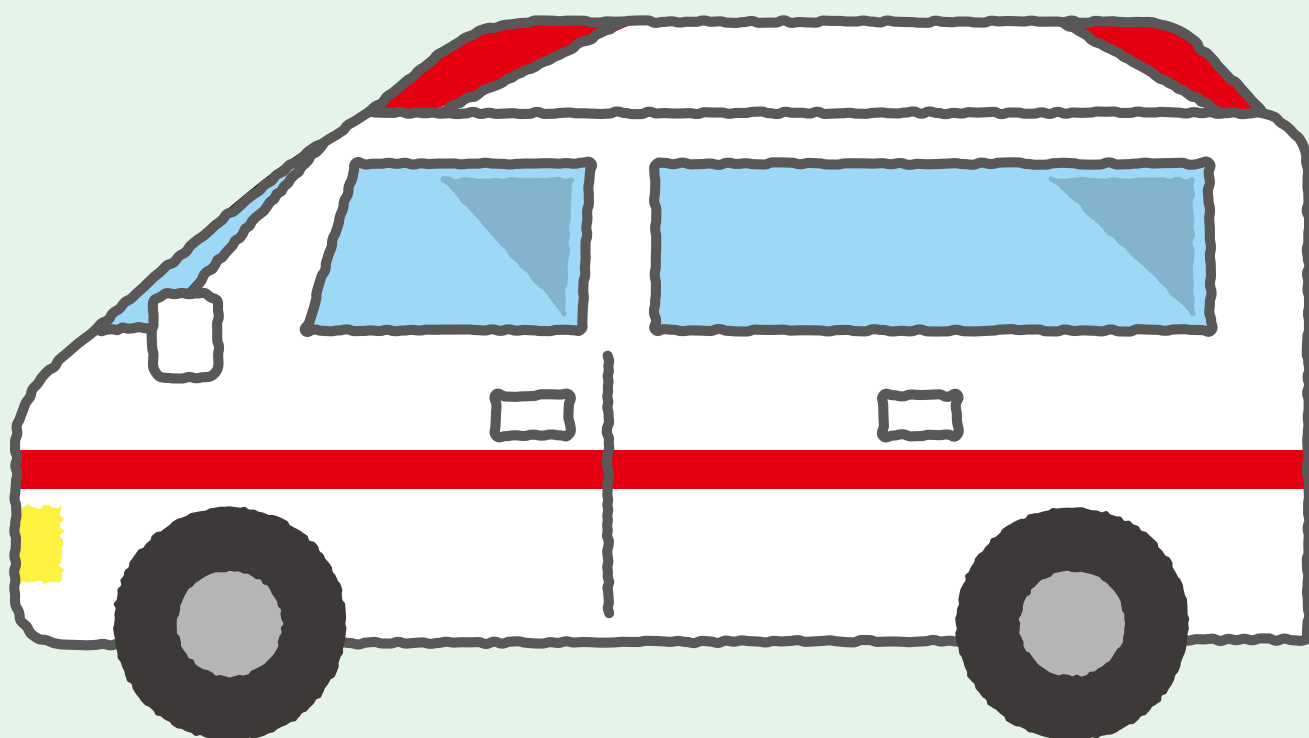
Autumn

特集 ドクターズインタビュー「ER 救急センター」

PICK UP：診療情報管理室

医事課：よくある質問 Q&A

連携医療機関：新谷医院



断らない救急の、 その先へ

地域の命を支える ER 救急センター

救急搬送 7,399 件。培った経験とチーム医療で、
ER 救急センターはさらなる進化を続けています。

☑ ドクターズインタビュー #008

ER救急センター 副センター長

中川 俊 医師

2024年に救急外来へ赴任し、ER 救急センター を設立しました。救急への思いをお聞かせください。

当院は、旧朝霞台中央総合病院の時代から、地域で多くの救急搬送を受け入れてきた歴史ある救急病院です。私はその伝統を受け継ぎ、地域の皆さまが「困ったときに頼れる病院」と感じられる救急医療をもう一度つくりたいという思いで、“断らない救急”を掲げ、救急外来を ER 救急センターへと発展させました。

ER 救急センターが担う役割を教えてください。

朝霞市、志木市、和光市、新座市を中心とした地域の救急搬送患者さまを、24 時間 365 日受け入れています。急な病気やけがに対して診察・検査・処置を行い、入院や専門治療につなげています。また、緊急性の高い病気や重篤な状態の患者さまには、救急専門医を中心に複数名のスタッフで速やかに対応し、命を守るために必要な処置を行っています。

当院の救急診療体制の特長はありますか？

救命救急センターなどで専門的なトレーニングを受けた救急専門医が9名在籍しており、埼玉県内でも充実した救急診療体制を整えています。

さらに、高度な医療を行う ICU を 10 床備え、救急外来での初期対応から入院後の集中治療まで、切れ目のない診療が可能です。なかでも、脳卒中や重症頭部外傷、けいれん重積など、重篤な脳・神経疾患に対する神経集中治療室（6床）は、当院の大きな強みです。脳神経外科医、神経集中治療医をはじめとする多職種が連携し、専門的な全身管理と脳機能の評価・治療を行っています。

緊急手術やカテーテル治療が必要な場合にも、24 時間対応できる体制を整えています。

救急外来では、常時看護師4～8名、救急救命士1～2名が診療を支えています。医師、看護師、救急救命士をはじめとする多職種が協力し、患者さまに迅速で安全、かつ専門性の高い救急医療を提供できるよう努めています。

昨年度、救急医療功労賞等表彰を受賞されました。 どのような取り組みをされているのでしょうか？



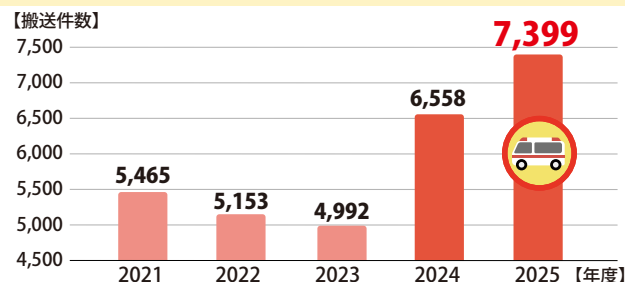
救急搬送をより多く、迅速に受け入れられるよう、当院では救急隊からの入電を救急医師が直接受けるシステムを構築しています。患者様の状態を医師が早い段階で把握することで、受け入れ判断や来院後の診療開始をよりスムーズに行えるようにしています。

救急搬送の入電対応にあたる看護師や救急救命士への教育にも力を入れ、消防との緊密な連携のもと、円滑な救急搬送の受け入れにつなげ、消防との良好な関係を築いています。

夜間・土日祝日も、内科・外科・整形外科・脳神経外科・歯科口腔外科の5つの専門診療科の医師が対応できる体制を整えています。

これらの体制が実を結び、2025 年の救急件数は年間 7,399 台で県下 7 位の実績となり表彰いただきました。

一 当院の救急車受入れ件数 2年連続で増加 一



消防隊など地域との連携はどのように行っていますか？

病院前外傷診療コース（JPTEC）や蘇生教育コース（ICLS）などを地域の病院スタッフ、消防のスタッフ向けに開催して、地域全体の救急教育に貢献しています。実際の救急搬送の流れを学ぶため、消防署での救急車同乗実習も行っています。消防の現場を知ること、救急隊との連携を深め、患者さまを円滑に受け入れられる体制づくりにつなげています。



A：車外救出の訓練
（病院前外傷コース）



B：多数傷病者に取り組む
（埼玉メディカルラリー）

また、当院の医師・看護師と消防の救急救命士がチームを組み、埼玉メディカルラリー2025に参加し、5位入賞を果たしました。メディカルラリーとは、実際の救急現場を想定して、判断力・処置・チームワークを競う実践型の救急医療訓練です。

こうした取り組みを通じ、病院と消防が顔の見える関係を築き、地域の救急医療の質向上に努めています。

昨年当院で開催した埼玉県初の「あさか子どもメディカルラリー」は、どのようなイベントですか？



子どもメディカルラリーは子供たちが「命を守るための第一歩を踏み出せる」ようになることを目指

して行われる体験型教育イベントです。昨年度の大阪万博でも開催された非常に注目されているイベントで、救急科の下山医師が実行委員長となり、本県では初めての開催となりました。

消防や ER 救急センターで実際に勤務しているプロフェッショナルの講義に続いて、もしも「大切な人が倒れたら?」「友達が突然けがをしたら?」「津波などの危機的な災害に直面したら?」等のリアルに再現されたシナリオに3人1チームでチャレンジ。採点形式で競いました。埼玉県内から 10 チームの小学生が参加し、150 名以上のボランティアスタッフが支えました。



C D：胸骨圧迫、三角巾固定を実践（あさか子どもメディカルラリー）

参加前後のアンケート比較でも意識の変化が見られ、“ふみだす勇気”と“正しい行動”を学んでいただけたと思います。競技以外にも楽しいイベントが盛り沢山で（どんな内容かは是非参加してご覧くださいね）、参加された小学生だけでなく、引率の親御さん、ボランティアスタッフにもたくさんの笑顔にあふれた1日となったことが印象的でした。今年度もさらにバージョンアップして開催を予定しております。

これからも病院の枠を越え、地域の皆さまとともに、安心して暮らせる朝霞のまちづくりに取り組んでまいります。

中川医師からメッセージ

◆ 患者さまへ

救急搬送では患者さまは病院が選べません。昨年度、この地域で発生した救急搬送のうち3～4台に1台（昨年度は4市で約25,000台、当院が約7,000台）が当院に搬送となりました。搬送された患者さまとその家族さまから、“当院に運ばれてよかった”と言っていたような地域に信頼される救急外来を目指します。

“朝霞には TMG あさか医療センターの ER があるから安心だね”、そう言っていた日があるよう日々努力してまいります。

◆ 地域の先生方へ

入院を要する急患患者さまをいつでも受けられる体制をとっています。

外来での対応が難しい患者さまや、緊急性の判断に迷う患者さまがいらっしやいましたら、ぜひご相談ください。



ICUでもリハビリ？

回復への第一歩 “早期リハ”の現場

「ICUでもリハビリをするの？」と意外に思われる方もいらっしゃるかもしれません。近年は、患者さんの状態を慎重に見極めながら、できるだけ早い段階からリハビリを始める「早期リハビリ」が行われています。その目的や役割をご紹介します。



ICU 専従の理学療法士・太田正史さんに、ICUでのリハビリについて伺いました。

Q. ICUでもリハビリ？ 回復を支える早期リハビリ

- A** ICU は、命に関わる重い病気やけがを負った患者さんに、24 時間体制で集中的な治療を行う場所です。そのため、「まだ安静にしていた方がいいのでは？」と思われる方も少なくありません。しかし、寝たきりの状態が続くと筋力や体力が低下し、回復や退院後の生活に影響することがあります。そのため ICU でも、安全に行えると判断した時点から、患者さんの状態に合わせてリハビリを始めています。最初はベッド上で関節を動かしたり姿勢を整えたりすることから始め、回復に合わせて座る、立つ、歩く練習へと少しずつ進めていきます。

Q. 声にならないサインを受け止める、ICU での寄り添い方

- A** ICU では患者さんの状態が短時間で変化するため、医師や看護師など多職種と連携しながら、安全を最優先にリハビリを行います。意識がはっきりしない方や、言葉で気持ちを伝えることが難しい方も少なくありません。そのような時こそ、病気だけでなく、その方自身に目を向け、表情や目線、わずかな反応から思いを受け止めることを大切にしています。不安を感じやすい環境だからこそ、安心してリハビリを受けられるよう、一人ひとりに寄り添いながら関わっています。

Q. ICU リハビリに欠かせないチーム医療

- A** ICU では、医師や看護師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士など、多くの専門職が患者さんを支えています。リハビリスタッフは、患者さんの状態を専門的に評価し、「どこまで安全に身体を動かせるか」を判断します。その内容を多職種で共有し、一人ひとりの状態に合わせた支援につなげています。命を守る治療が行われる時期から患者さんに関わり、その先の生活まで見据えて支えることが、私たちの大切な役割です。

「もう動いて大丈夫なの？」というお気持ちは自然なことです。そうした不安に寄り添いながら、私たちは安全を第一に、患者さん一人ひとりの状態を丁寧に見極め、回復への一歩を安心して踏み出せるよう支援に力を入れています。

支える人たち
部署紹介リレー 08

診療情報管理室

診療情報とITを駆使する
医療データサイエンティスト




データの番人 「診療情報管理士」 をご存じですか？

私たちは、患者さまのさまざまな医療行為の大切な「記録」を管理・運用することで、医療機関の土台を支える、言わば“縁の下の力持ち”的なポジションです。皆さまが安心して医療を受けられるよう、「情報」の面から病院を支えています。

カルテなどの保管・管理

診察記録や手術記録、同意書、画像データなどを患者さまごとに整理し、大切に保管。必要なときすぐ確認できるよう体系的に管理しています。

記録の開示対応

ご本人や保険会社からのご依頼に応じ、カルテや画像記録を開示しています(年間約260件)。同意書を確認のうえ丁寧・迅速に対応しています。

記録のチェックとデータ作成

診療記録の誤りや記入漏れをチェックし、世界中で医療情報を共有できる「ICD:国際疾病分類」でコード化(例:大腿骨頸部骨折→S7200)します。匿名化した統計データは学会発表や医療研究にも活用されます。

国への報告

入院医療の内容をまとめた「DPCデータ」や、がん患者さんの情報を国に提出。医療の質向上や病院運営の基礎資料としても活用されています。

TMG あさか医療センター 管理栄養士監修

あさか健康キッチン

秋野菜たっぷり腸活レシピ♪

秋野菜の味噌ミルクスープ

食物繊維 × 発酵食品で、おいしく手軽に秋の腸活

かぼちゃやきのこなど秋の旬食材をたっぷり使ったミルクスープです。食物繊維と発酵食品の味噌を組み合わせることで、手軽に腸活ができます。食物繊維は善玉菌のエサとなり、味噌に含まれる乳酸菌は腸内環境を整える働きがあります。相乗効果でおなかの健康をサポートします。



1日に必要な食物繊維の約1/3量が摂れます！

作り方

- ① かぼちゃは一口大、玉ねぎ・しいたけは薄切り、まいたけは食べやすい大きさにほぐす。
- ② 鶏もも肉は一口大に切る。
- ③ 鍋に水200～250mlを入れ、鶏肉・かぼちゃ・玉ねぎを加えて10分ほど煮る。
(かぼちゃに串がすっと通るまでが目安。大きさを揃えると均一に火が通ります)
- ④ 火が通ったら、しいたけ・まいたけを入れ2～3分煮る。
- ⑤ コンソメ・牛乳を加える。
- ⑥ 味噌をとき入れ、塩こしょうで味をととのえる。
- ⑦ 沸騰させないように1～2分加熱して完成。
(味噌の風味と香りを生かすため、沸騰させずに仕上げます。)

材料(2人分)

- 鶏もも肉 100 g
- かぼちゃ 1/8 個 (140g)
- しいたけ 2-3 個
- まいたけ 1/2 パック (50g)
- 玉ねぎ 1/4 個
- 牛乳 200ml
- 水 250ml
- 顆粒コンソメ 小さじ 1/2
- みそ 大さじ 1/2
- 塩・こしょう 少量



栄養価(1人分) エネルギー: 277 kcal たんぱく質: 15.8 g 脂質: 14.2 g 塩分: 1.7 g 食物繊維: 5.7 g



きらっ

と輝く 病院で活躍中の あさかスター をご紹介

一刻を争う救急の現場では、瞬時の判断と的確な対応が命を左右します。
最前線で患者様を支える「救急看護認定看護師」の役割と仕事への思いを伺いました。



vol.8

看護部 藤井 美香さん

救急の最前線で命と心を支える
救急看護認定看護師

Q1 救急看護認定看護師は、どのような役割を担っていますか？

救急看護認定看護師とは、専門的な教育課程を修了し、高度な知識と技術を備えた看護師です。一刻を争う救急の現場では、患者様のわずかな変化から重症度や緊急性を迅速に判断し、医師と連携しながら救急処置の介助や苦痛の緩和を行います。また、突然の病気やケガによって危機的な状況に置かれた患者様やご家族の不安に寄り添い、精神的な支援を行うことも重要な役割です。専門性を生かし、救急医療の最前線で患者様の命を守るとともに、安心して治療を受けられる環境づくりにも努めています。

Q2 救急外来は、不安を抱えて来院される患者様やご家族も多いと思います。関わる際に心がけていることを教えてください。

突然の病気やケガで来院された患者様やご家族のわずかな表情や反応の変化から、言葉に表しにくい不安や思いをくみ取り、その方に必要な支援につなげられるよう、一人ひとりに寄り添った関わりを心掛けています。また、ご家族には現在の状態や治療内容を正確にわかりやすくお伝えし、少しでも不安が和らぐよう丁寧な説明を心掛けています。

Q3 救急医療では、医師や救命士など多くの職種が関わります。現場ではどのような連携を大切にしていますか？

医師や看護師、救急救命士などが「命を救う」という一つのゴールに向かい、それぞれの専門性を生かしながらバトンをつなぐチーム医療を実践しています。一刻を争う救急の現場では、一人ですべてを担うことはできません。全員が声を掛け合い、お互いを尊重しながら、それぞれの役割を発揮できるチームづくりを大切にしています。



Q4 「この仕事をしていてよかった」と感じる瞬間を教えてください。

救急では、患者様やご家族にとって人生の大きな転機となる場面に立ち会います。厳しい状況の中でも、患者様やご家族から「ありがとう」や「安心しました」と声を掛けていただけたとき、この仕事をしていて本当によかったと感じます。救急看護は命を支えるだけでなく、人の心にも寄り添える仕事だと実感しています。



Q5 今後の目標を教えてください。

今後の目標は、救急看護認定看護師として学び続けることはもちろん、所属長としてスタッフ一人ひとりの成長を支え、病院全体の救急対応力の向上につなげていきたいと考えています。そして、今以上に患者様とご家族に信頼され、地域の皆様に安心していただける救急医療を目指していきます。

これからも、地域の方々が安心してこの地に住み続けられる、そんな病院の存在になれるよう、『命を救い、生（生活）を支える』救急看護を追求していきたいと思っています。





Q 病院に行くべきか相談できる窓口はありますか？また病院の診療時間外に体調が悪くなった場合、受診はできますか？

A 「救急車を呼んだほうがいいのか？」「今すぐ病院に行ったほうがいいか？」など、判断に迷った際の相談窓口として「**埼玉県救急電話相談**」があります。(右図) 救急搬送や病院受診の必要性、受診できる医療機関の案内、応急処置の方法などを相談することができます。



当院では24時間救急診療を行っております。診療時間外の受診をご希望の方は、事前にお電話のうえ、病院裏(ヤコー側)の時間外出入口へお越しください。

急な病気やケガで救急車を呼ぶか迷ったら…
埼玉県救急電話相談 24時間 365日



※ 相談無料。通話料は利用者負担となります。
※ 23か国語での相談(通訳会社を通じた3者通話)が可能。

Q 資格確認書(保険証)またはマイナンバーカードは、毎月掲示が必要ですか？

A 月に一度、ご提示をお願いしております。月初めの受診の際は、資格確認書(保険証)またはマイナンバーカードを「1番総合窓口」へご掲示ください。


マイナンバー確認 ☐

★マイナンバーの確認が必要です★
 1番総合案内窓口まで
 お越しください

《受付票》
 2026/10/01 10:30
 ID: 00012345678
 アサカ タロウ
朝霞 太郎 様
 (平成10年 5月5日 男性)

受付番号: 123

受信科	医師名	予約時間
脳神経下	てんかん外	14:00

診療内容: 診療
1階 Aブロック受付までお越し下さい
最終来院日: 2026/3/15
TMGあさか医療センター

受付票にご案内が表示されていない場合でも、月初めの受診では確認が必要となります。ご協力をお願いいたします。



Q 带状疱疹ワクチンの接種を考えています。予約なしで受診できますか？

A **带状疱疹ワクチン接種は予約制**です。接種をご希望の方は平日15:00~17:00の間にお電話でご予約ください。なお、当院では不活化ワクチンを採用しており、2回の接種が必要です。接種間隔などの詳細については、ご予約時にご案内いたします。

▼ **带状疱疹ワクチンの公費対象者(厚生労働省)** ▼

以下の方は、自治体による公費助成(定期接種)を受けられる場合があります。

- 65歳の方
- 60~64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に1級相当の障害がある方
- 令和7年度から5年間の経過措置として70・75・80・85・90・95・100歳の方

自費・公費の料金についても、ご予約時ご案内いたします。

「かかりつけ医」を持つと、こんなメリットがあります

体調の変化にすぐ気づいてもらえる、気軽に相談できる、必要なときは専門医療につないでもらえる — 身近な「かかりつけ医」がいることは安心につながります。当院は地域の基幹病院として、かかりつけ医の先生方と連携し、みなさまの健康をサポートしています。このコーナーでは、当院と連携している登録医の先生方をご紹介します。



医療機関のご紹介



連携登録 医療法人兼愛会
新谷医院
地域医療のパートナー

院長：新谷 若菜 先生
資格等：循環器専門医・総合内科専門医・医学博士
診療科目：内科／循環器内科／消化器内科／眼科
住所：〒351-0011 埼玉県朝霞市本町1丁目2-36
電話番号：048-461-3238
アクセス：東武東上線「朝霞駅」南口より徒歩7分
朝霞市役所となり

一人ひとりに寄り添った、あたたかい医療を

緑豊かな朝霞の地に開業して60年になります。先代より地域の皆様の健康を見守ってまいりました。現在、循環器専門医、総合内科専門医の院長はじめ、内科医、眼科医が診療を担当しております。地域のかかりつけ医として、循環器疾患は元より、一般内科まで幅広く診療しています。風邪、胃腸炎などの急性疾患や花粉症、日常的な体調不良の対応、生活習慣病（高血圧症、脂質異常症、糖尿病）はじめ慢性疾患の診断治療、また特定健診、がん検診、予防接種（インフルエンザ、新型コロナ、肺炎球菌、带状疱疹など）を実施しておりますので、お気軽にご相談ください。TMG あさか医療センターと引き続き連携を密にして、今後も地域医療に貢献したいと考えております。



診療時間	月	火	水	木	金	土
8:30～12:30	○	○	○★	○	○	○
13:30～14:30	○	—	○	—	○	—
16:30～18:30	○	○	○	—	○	—



新谷医院ホームページ

★ 眼科診療（眼科専門医・医学博士）水曜午前（10:00～12:00）

休診日 木曜午後・土曜午後・日曜・祝日



読者アンケート
はこちら

読者アンケート募集中

「かけはし」では、読者のみなさまの声を生かした広報誌づくりを行うためご意見・ご感想を募集しています。
ご意見・ご感想は左側の二次元コードを読み取りいただき、アンケートフォームより送信してください。みなさまの「知りたい!」にお応えできるよう、また幅広い方々に愛読されるような広報誌を目指しております。次回は4月発行予定です。

